



函館アイヌ文化研究会シンポジウム

北海道南部のアイヌ文化を探る

～道南のアイヌ文化に関する総合的研究～

日時：2013年12月1日(日) 14:00-16:00

会場：函館市地域交流まちづくりセンター

主催／函館アイヌ文化研究会

後援／社団法人北海道アイヌ協会函館支部、社団法人北海道アイヌ協会八雲支部、
社団法人北海道アイヌ協会長万部支部、北海道民族学会、函館市教育委員会、
財団法人函館市文化・スポーツ振興財団

申込不要
入場無料



荒城初治氏が建設した「アイヌコタンの史蹟館」
(函館市・函館市観光協会編「65/函館」より)



1963年2月に函館で開催されたイオマンテ(荒城孝夫氏所蔵写真)



八雲町ユーラップのアイヌコタン(函館市中央図書館所蔵)



小島倉太郎アルバムとクリルアイヌの写真(市立函館博物館所蔵)

函館アイヌ文化研究会シンポジウム

北海道南部の アイヌ文化を探る

～道南のアイヌ文化に関する総合的研究～

渡島・檜山地方を中心とした北海道南部は、これまで地域とアイヌ文化との繋がりについて積極的に語られることが比較的少なかった地域です。しかし近年、道南地域に残されたアイヌ関連物質文化資料に関する有益な論文が発表されるなど、道南地域とアイヌ文化の繋がりについて新たに見直されつつあります。

本シンポジウムでは、函館を中心とする道南地域とアイヌ文化との繋がりについて、歴史学・言語学・民族学などの様々な研究手法によって得られた研究成果を公開いたします。

本シンポジウムは公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構の研究助成を受けています。

「父荒城初治について」

荒城 元康 (社団法人北海道アイヌ協会函館支部副支部長)

函館で土産物店を営んだ旭川出身の父、荒城初治の足跡について、聞き取り調査と自らの思い出をもとに探求

「函館観光とアイヌ文化」

大矢 京右 (市立函館博物館学芸員)

高度経済成長期の函館における観光の振興とアイヌ文化の関わりについて、文献調査と聞き取り調査をもとに検討

「道南アイヌの歴史とアイヌ語」

大野 徹人 (様似民族文化保存会会員)

道南アイヌの歴史と文化・言語について、聞き取り調査と音声資料調査をもとに検討

「小島倉太郎アルバム～函館-根室-千島写真紀行」

谷 杉 アキラ (箱館写真伝習舎代表)

クリルアイヌの強制移住に立ち会った函館の役人、小島倉太郎の写真アルバムをもとに、新たなアイヌ文化理解・普及の方法論について検討

会場

函館市地域交流
まちづくりセンター

〒040-0053
北海道函館市末広町4-19
TEL.0138-22-9700
FAX.0138-22-9800

お問い合わせ

函館アイヌ文化研究会事務局
TEL: 090-1387-1067
mail: hakodate_ainu_culture@yahoo.co.jp

